

福島第一原子力発電所 2号機原子炉建屋 西側外壁開口工事の進捗状況について

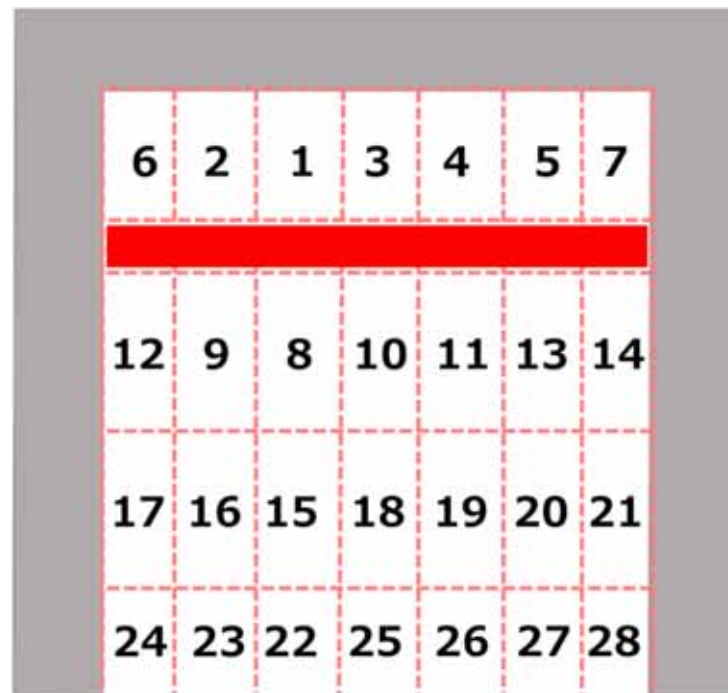
< 参 考 資 料 >
2 0 1 8 年 6 月 1 4 日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

- 5月28日から、2号機原子炉建屋西側外壁開口工事として、壁解体作業を開始しています。6月14日夕方時点で29ブロック中28ブロックの解体が完了しています。
- これまでの作業で、放射性物質濃度を監視しているダストモニタや、敷地境界に設置してあるモニタリングポストに有意な変動はありません。
- 現在、最後となる29番目のブロック（梁）解体に向け準備を進めており、6月15日から着手し、1週間程度で開口作業が完了する見込みです。
- 6月下旬から、原子炉建屋上部解体に先立ち放射性物質の飛散抑制策等を検討するため、遠隔操作ロボット等によるオペレーティングフロア内での線量・ダスト濃度等を測定する調査を行う予定です。

壁解体の状況
(6月14日夕方時点)

28/29ブロック

【凡例】  未解体

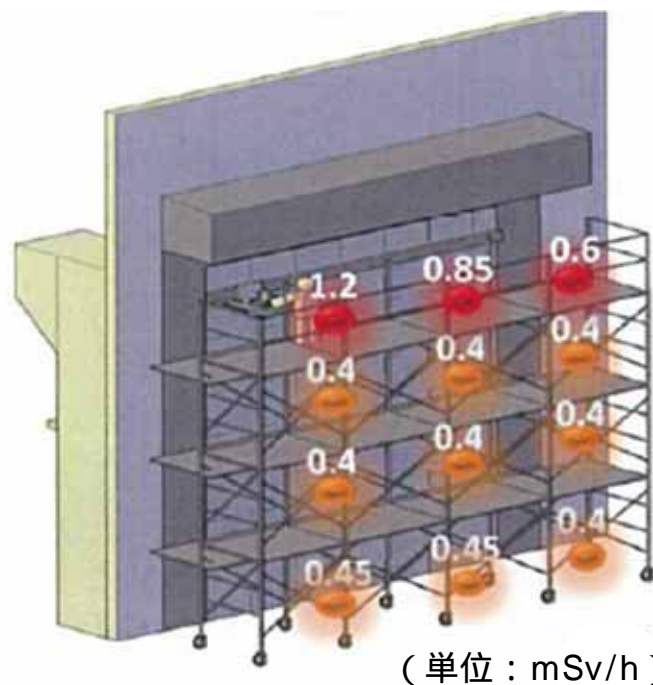


作業前後の放射線量変化状況（2）



開口作業開始前の線量

足場上での作業を実施するために測定したもの



測定日：2018年5月12日
壁からの距離：約50cm

- 測定位置（水平位置）：R/Bと前室の境界
測定はいずれも解体完了後の開口が開いた状態での測定